

国際英語学部 国際英語学科【教育課程の編成・実施方針】

国際英語学部国際英語学科では、学位授与の方針で示した「学習成果」を実現するため、以下に示す教育課程を編成し、実施していくこととします。

<国際英語学部国際英語学科の教育目的>

国際英語の理念に基づき、英語圏及び非英語圏の言語文化社会に関する知識、並びに、現代の国際化する企業・団体等で求められる多様な専門知識や技術を獲得させることに加え、英語圏・非英語圏を横断する高度な英語力を身に付けさせることで、世界に通じる国際人の養成を目的とする。

<教育課程の編成と特色>

国際英語学部国際英語学科の教育課程は、一般教養科目である全学共通科目と専門科目である学部固有科目から構成される。

<専門教育課程の構成>

1. 学部固有科目の卒業要件単位は 74 単位であり、科目区分によって以下の科目群に分けられる。
 - ① 必修科目(46 単位)として、「オーラル・コミュニケーション I~V」、「プレゼンテーション I~V」、「コミュニケーション・ライティング I~IV」、「リーディング I~VI」、「ワークショップ I~II」、「英語情報処理演習 I~II」、「上級英語情報処理演習 I~II」、「国際英語学演習 I~VI」、「国際英語学概論 I~II」、「シンガポール研修」及び「国際キャリア・ディベロップメント」を配置し、総合的な英語力の養成、国際英語学の基礎知識の獲得、及び卒業後の職業意識の涵養を指導する。特に「シンガポール研修」では英語非母語圏での英語の実践的使用と海外体験を通じて、国際英語の理念の深化を図っている。
 - ② 選択必修科目(4 単位)として 2 年次に「アメリカ研修」、「オーストラリア研修」、「海外基礎研究」の科目を配し、英語圏での英語の実践的使用と海外体験を経験させている。3 年次には「ジャーナリズム I~II」、「アカデミック・ライティング I~II」、「クリエイティブ・ライティング I~II」を配置し、学生各自の関心に則って、英語での卒業論文作成や資料収集の基礎訓練を実施している。
 - ③ 選択科目(24 単位)は多岐にわたり、「国際地域研究科目群」、「コミュニケーション研究科目群」、「言語教育研究科目群」、「英語圏文学研究科目群」、「国際ビジネス研究科目群」、「海外大学交換講座群」、「演習実技科目群」、「司書科目群」、「海外研修科目群」、「実用科目群」に加えて教職課程の科目群など、大まかに 11 種類の科

目群がある。各科目群には複数の科目が配置され、合計 53 科目が開設されている。特筆すべきは、ビジネス関係の科目（「国際ビジネス論 I～II」、「航空ビジネス論」など）とインターンシップ系の科目（「海外業界研究 I～II」、「国内企業インターンシップ」）であり、本学科学生の職業意識の向上に寄与している。

2. 国際英語学部国際英語学科では、学生の興味と将来の進路に応じて、3つの履修モデルを提示している。

- ①国際ビジネスキャリアを目指す学生の履修例：この履修例では、演習や講義等の授業の他、海外企業でのインターンシップなどの現場体験を通じて、高い英語力を身につけ、その高い英語力を駆使して企業や公的機関で国際的に活躍できる人材の育成を目的とする。
- ②言語教育専門家を目指す学生の履修例：この履修例では、言語や文化に関する幅広い内容の講義・演習・実習を通じて、英語教員、国内外での日本語教師、英語教育研究者・言語研究者志望者を、理論と実践の両面から育成することを目的とする。
- ③国際交流支援者を目指す学生の履修例：この履修例では、実学や文化に関する様々な講義・演習・実習を通じて、英語を駆使して世界の多様な機関で活躍できる人材、日本人として日本の事情を英語で発信できる人材の育成を目的とする。

3. 国際英語学科学部固有科目（専門科目）の特色

国際英語学部国際英語学科では、国際的に通用する英語力の養成、特に日本人として日本の情報を発信できる人材の育成を目標としている。そのスキル養成のため、1年次から3年次まで、15人程度の少人数クラスの英語演習科目を必修としている。一方、情報発信するためのコンテンツを学ぶために、2年次からゼミ（国際英語学演習）を導入し、広範囲で多くの講義科目や演習科目を開講している。3年生及び4年生のゼミ（国際英語学演習Ⅲ～Ⅵ）では、専任教員指導のもと、各教員の専門分野の研究をするのだが、日本人専任教員以外に外国人専任教員によるすべて英語によるゼミも選択可能である。

本学科の最も顕著な特徴は、海外研修の豊富さである。1年次必修の「シンガポール研修」は英語非母語圏で英語公用語圏あるシンガポールで、2年次選択必修の「アメリカ研修」、「オーストラリア研修」、「海外基礎研究」は英語母語圏で実施している。加えて、1年次～4年次までは英語圏を中心に職業体験ができる「海外業界研究 I～II」、「日本語教育実習 I～II」を開講し、学生の英語力と海外適応力を高める他、職業意識や勉学意識の向上にも寄与している。

もう一つの本学科の特徴は、ビジネス系・キャリア系の授業が多いことである。特に2年次春学期に「国際キャリア・ディベロップメント」を必修科目にして、学生の将来の職業意識を高めていることは特筆に値する。その他、「航空ビジネス論」や「観光学と英語」など企業の第一線で活躍した講師を招いての科目は、学科学生の職業意識を高め、

本学で常に一番争う就職率につながっていると思われる。

その他、学生の実力と意欲に応じて、単位認定制度を積極的に活用して、ISEP やセメスター留学等の長期留学も奨励し、毎年、全学で圧倒的に多い数十名もの学生を海外の大学へ送り出している。

また、英語科目とも連動させて、1～2年生は「学習発表会」、3年生は「研究発表会」という学生主体の学科行事を行っている。これら学科行事は、「学習発表会」では母校の恩師や父母、「研究発表会」では企業の方々を招いて、英語で研究発表を行う行事である。これら学生主体の行事では、英語学習以外に、調査研究能力、同級生や担当教員との協調性、学外者を招くことを通じての社会常識なども涵養している。